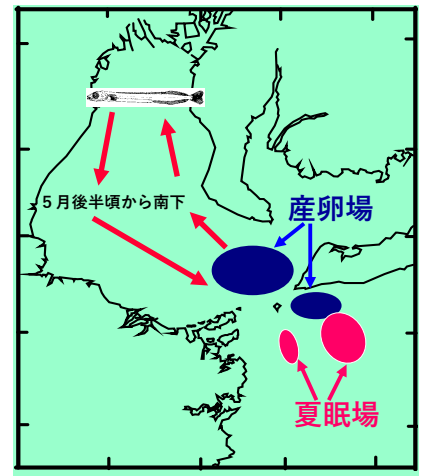


令和元年度三重県沿岸種資源評価 イカナゴ

資源水準・動向

低位・減少



生物情報

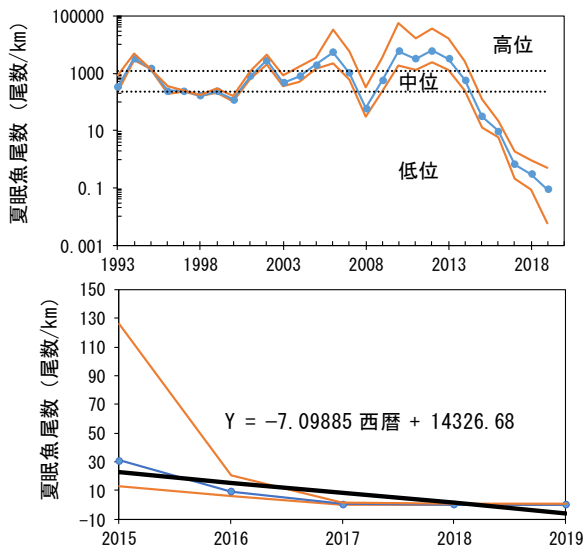
- ・ 当歳で体長7～10cmとなる。
- ・ 動物プランクトンを捕食する。
- ・ 当歳魚以降で性成熟する。産卵期は12～2月であり、湾口部の海底の砂～細石に沈性粘着卵を産み付ける。
- ・ 伊勢・三河湾で独立した系群と考えられている。

漁業の特徴

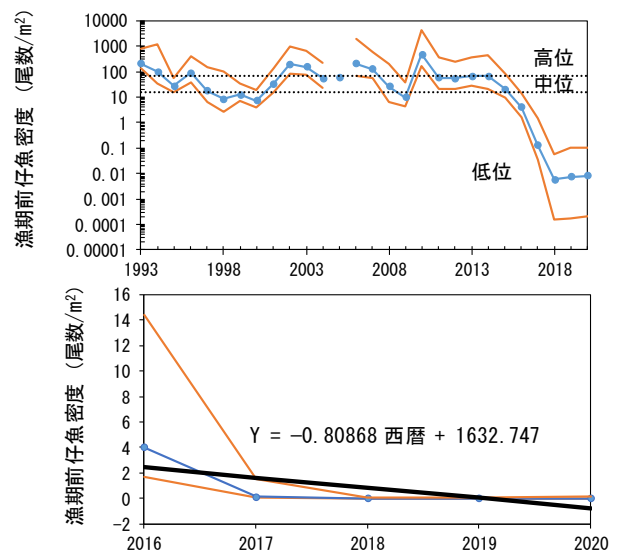
- ・ 仔魚・稚魚(体長3.5～10cm)が主な漁獲対象となっている。
- ・ 仔魚・稚魚は船びき網、ばっち網で漁獲され、漁期は2～5月前後である。
- ・ 仔魚・稚魚の残存資源尾数が20億尾以上となるよう、漁業関係者・県・国が管理している。
- ・ 資源の減少と資源保護のため、2016年以降は操業を自粛している。

資源状態

- ・ 夏眠魚尾数と漁期前仔魚密度から資源水準は「低位」とした(上下の線は信頼区間)。
- ・ 両指標の過去5年間の推移から動向は「減少」とした。



夏眠魚尾数の資源水準と動向



漁期前仔魚密度の資源水準と動向

資源管理の取組

- ・ 残存資源尾数一定方策、操業自粛

将来考えられる資源管理の取組

- ・ 操業自粛の継続、夏眠場の保護、漁獲努力量の削減、残存資源尾数の増加